

日本オンライン診療研究会からの意見・要望

日本オンライン診療研究会は、平成30年4月にオンライン診療を実践する医師らが集い設立された。現在、会員は120人、診療科は20診療科に及ぶ。2018年12月には第1回公開研究会を開催。会長は黒木春郎。

- オンライン診療は、外来診療、入院診療、訪問診療に並ぶ一つの診療形態であり、他の診療形態にない強みもあるため、オンライン診療が診療形態の一つとして発展することにつながる指針として欲しい。
- 同一医師規定については、他の診療形態においてもチーム医療が進んでいることを鑑みて一定の見直しが必要ではないか。
- オンライン診療で慢性疾患をフォローしている診療において、感冒症状や軽微な症状に対して、処方が求められることがある。よく発生する事態であるため、患者の利便性を考え、対応できるようにして欲しい。
- 緊急避妊薬について初診からオンライン診療が可能と解釈している医師がいるが、初診対面診療の原則から外れていいのか、明確にする必要があるのではないか。
- セカンドオピニオンについては、指針上どう位置付けられるのか、オンラインでどの程度行っていいのか、明らかにして欲しい。